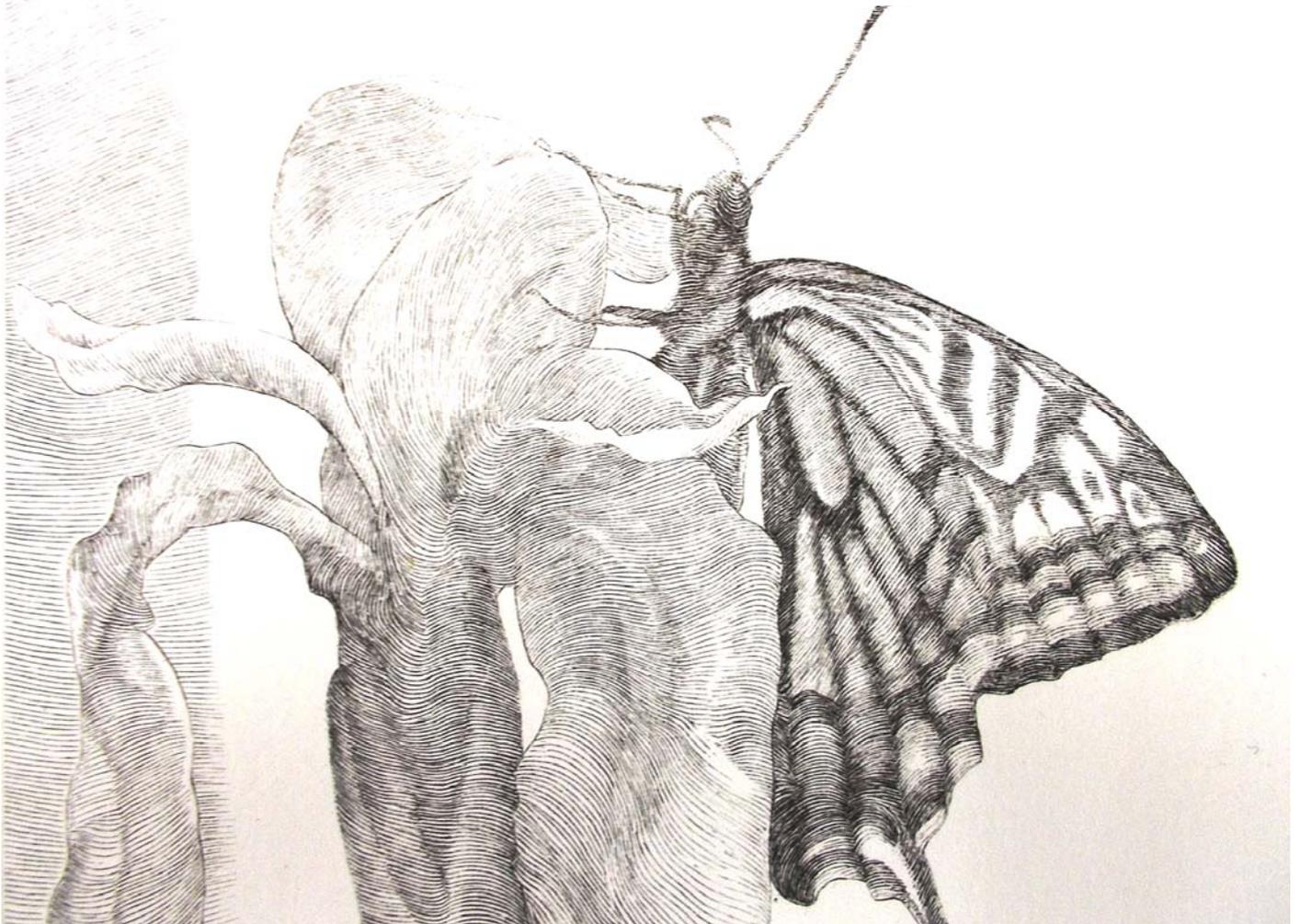


門坂 流 銅版画・エングレーヴィング

芸術家の創作の現場をのぞいてみたいと思ったことはありませんか？
公開制作とは、制作の場を広く一般の方々にご覧いただき、その技法と表現の秘密、作家の世界と魅力に触れ、版画と美術への理解を深めていただくというものです。
今年度は『町田市ゆかりの作家展』開催にちなみ、市内在住で銅版画家の門坂 流（かどさかりゅう）氏をお招きします。



画像：「白菖蒲と蝶」（部分拡大） エングレーヴィング

日時：2013年 3 / 23（土）

見学自由

レクチャー 13:30～13:50 学芸員による銅版画の技法解説
(講堂) 14:00～14:50 門坂氏によるトーク～自作とエングレーヴィングについて～

制作実演 15:10～16:15 エングレーヴィング技法の実演
(工房)

※混雑時は入場を制限する場合があります
※進行によって時間が変わることがあります
※限られた時間で実演をおこなうため、省略する工程があります。

銅版画は銅の板に何らかの方法で凹みを作り、そこにインクを詰め、プレス機で強い圧をかけて刷ります。エッチングやアクアチントなど様々な技法がありますが、なかでもエングレーヴィングは歴史が古く、現在も紙幣の原版制作などに使われています。ビュランという道具で直接、版を彫るのですが、これを使いこなすには熟練した技術が必要で、現代でこの技法を実践している作家はそう多くありません。

この技術を独学で習得した門坂流は、細密な線を版に刻むことには全く苦勞しなかったと語ります。「ペン画を15年描き続けていてこの技術に出会い、今までのペン画の仕事がエングレーヴィングの為の修行であったかのように自然に身に付きました。」と…。

公開制作では、前半のレクチャーで門坂氏の表現と制作についてご紹介し、後半は実際の制作の様子をお見せします。銅版画の技法をわかりやすく紹介する学芸員のレクチャーもあります。

自らの表現を追求する作家の深遠な世界、そしてなかなか見られないエングレーヴィング技法をご紹介するこの機会にぜひ足をお運びください。

MACHIDA CONNECTION

町田ゆかりの作家展 関連催事

門坂氏によるギャラリー・トーク

〈自作について語る、ギャラリー・トーク〉

3月24日(日)午後2時より40分程度

* 展覧会チケットが必要です。

Born After 1970

出品作家によるギャラリー・トーク

3月20日(水)午後2時より60分程度

* 展覧会チケットが必要です。

プロムナード・コンサート

3月16日(土)午後1時と午後3時の2回

各回30分程度

『町田ゆかりの作家展』は3/9(土)~4/7(日)の開催です



門坂 流 / かどさか りゆう

◇プロフィール

- 1948 京都市に生まれる
- 1968 東京藝術大学絵画科入学
- 1973 鉛筆、ペン画で創作活動を始める
- 1985 この頃からエングレーヴィングの技法を研究

◇出版

- 1988 ドローイング集『風力の学派』(ぎょうせい)刊行。
- 1990 『ビュランによる色彩銅版画集 水の光景』(ぎょうせい)刊行。
- 1999 朝日新聞朝刊小説「百年の預言」の挿絵を担当し、翌年記念画集を朝日新聞社より発行。
- 2003 小池真理子さんのコラボレーション『一角獣』で銅版画8点制作(角川書店)刊行。
- 2006 作品集『Ryu KADOSAKA Drawing Works』(不忍画廊)刊行

◇ 個展、グループ展多数

2013年3月30日~4月13日
不忍画廊(荻・中央区)にて個展

《門坂氏ホームページ》

<http://kadosaka.com/index.html>

町田市立国際版画美術館

〒194-0013 東京都町田市原町田 4-28-1

電話 042-726-2889(普及係)

<http://hanga-museum.jp/>

小田急線・JR 横浜線各『町田』駅より徒歩約 15 分